

平成 22 年度 岩手県青少年育成県民会議事業実施状況

1 青少年育成支援事業

(1) 青少年関係団体意見・情報交換会

青少年育成の運動の活発化を図るため、県民運動の中核として活動している青少年団体、青少年育成団体の会員のほか、ボランティア等の間で、意見・情報を交換しました。

開催日	平成 22 年 4 月 22 日(木)	平成 23 年 2 月 14 日(月)
会場	アイーナ団体活動室 2	アイーナ団体活動室 3
出席者	青少年団体・青少年育成団体等関係者 30 名	青少年団体・青少年育成団体等関係者 16 名
内容	① 県民会議主要事業等の説明 ② 県の青少年関係事業等の説明 ③ 情報・意見交換	① 県民会議主要事業等の説明 ② 県の青少年関係事業等の説明 ③ 情報・意見交換

(2) 青少年育成地域活動支援事業

地域における青少年育成地域活動を支援するため、市町村民会議や青年団体等が実施する家庭教育や交流、体験に関する活動に対し助成しました。

	助成団体	助成対象事業	助成額 (事業費)
1	岩手県子ども会育成連合会	名称:いわて家庭の日推進事業 平成 22 年度岩手県子ども会研究大会 期日:平成 22 年 9 月 12 日(日) 場所:ふれあいランド岩手 参加者:子ども、大人 120 名 内容: Ⅰ 部会研究協議会「子どもを元気にする家庭・地域づくり(いわて家庭の日推進テーマ)」 Ⅱ 講話 家庭の日推進テーマ「青少年を育成する喜びをとおして」	50,000 円 (180,000)
2	日本ボーイスカウト岩手連盟	名称:スペースシャトルで宇宙探検 ～野口さんにつづけ～ 期日:平成 22 年 9 月 12 日(日) 場所:陸中海岸青少年の家 参加者:子ども(スカウトとその兄弟姉妹)、大人(保護者+指導者)、一般親子 166 名 内容:ペットボトルシャトル打ち上げ、アイスブレーキングゲーム、ポイントゲームなど	50,000 円 (350,000)
3	奥州市水沢青少年育成市民会議	名称:もしも、災害で家が壊れたら・・・ “防災シミュレーションキャンプ” 期日:平成 22 年 9 月 10 日～11 日 場所:水沢公園、ホワイトキャンパス、県南青少年の家 参加者:奥州市内の小中高生及び育成者 49 名 内容:1 泊 2 日の“防災キャンプ” ・危険予知 ・防災グッズ製作・使用 ・推量制限に挑戦 ・応急救護訓練、消火器体験等	50,000 円 (70,000)
計	3 団体		

(3) 青少年育成指導者研修

青少年の指導者の指導・対応能力を高め、健全育成運動を強力に推進するため、指導者養成の研修会・情報交換会(内閣府・県との連携事業を想定)を実施しました。内閣府が実施する「地域連携推進事業北海道・東北ブロック研修会」及び中央研修会(東京)に地域の青少年育成指導者等が参加しました。

- ① 平成 22 年度「青少年育成のための地域連携推進事業」北海道・東北ブロック研修会
開催日:平成 22 年 9 月 13 日(月)
会 場:青森市(アピオあおもり)
参加者:4 名を派遣
- ② 平成 22 年度社会貢献青少年表彰式・青少年育成のための地域連携推進事業中央研修会
開催日:平成 22 年 11 月 29 日(月)・30 日(月)
会 場:東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター
参加者:3 名を派遣

(4) 青少年育成講師派遣

地域における青少年育成に関する研修会、会合等の活動の活性化を図るため、講師人材リストを作成し、地域の団体等が実施する研修会、講演会等に講師を派遣しました。

青少年育成県民会議の団体会員から、17 名の推薦をいただいた。

氏 名	所属団体	得意分野	市町村
高橋 洋子	青少年アドバイザー	A, G	盛岡市
千葉 幸兵	同	G	盛岡市
高橋 隆一	警察本部少年課	E, F	盛岡市
浅沼 文一	同(盛岡東)	E, F	盛岡市
佐藤 正身	同(盛岡西)	E, F	盛岡市
高橋 安子	紫波警察署	E	矢巾町
長島 寿勝	盛岡少年院	G	盛岡市
古橋 徹也	盛岡少年鑑別所	E	盛岡市
狩野 和子		G	花巻市
佐々木 幸二	警察本部少年課(花巻署)	E, F	花巻市
高橋 實	同(北上署)	E, F	北上市
谷地館 照起	同(県南少年サポートセンター)	E, F	北上市
菊池 宏平		G	北上市
大村 千恵	水沢青少年育成市民会議	A, B, G	奥州市
小沼 義男	子どもの未来を育てる群の会	B, G	奥州市
熊谷 まき子	くまの子クラブ	A, B	一関市
平井 ふみ子	ガールスカウト岩手県支部	A, B, C, G	宮古市

注 A:家庭の子育て B:地域の子育て C 心身の健康

D 不登校・ニート E:非行防止 F:情報教育 G その他

開催日・場 所	事業名	開催市町村	派遣講師名	参加者数
平成 23 年 1 月 15 日(土)	家庭教育学級	一関市	熊谷 まき子	60 名
2 月 7 日(月)	2 月定例会	金ヶ崎町	大村 千恵	38 名
2 月 13 日(日)	ボランティア 情報交流会	盛岡市	平井 ふみ子	16 名

(5) 青少年育成貢献団体・貢献者の表彰

① 推薦及び選考

優れた活動を行っている青少年、青少年育成指導者、青少年団体・グループ及び青少年育成団体等について、会員団体及び市町村から推薦を受け、選考のうえ、会長表彰を行いました。

(選考委員会 10月19日開催)

② 表彰は、いわて親子・家庭フォーラムの席上で行いました。

期 日:平成22年11月27日(土)

会 場:花巻市石鳥谷生涯学習会館

[団体 3団体]

団 体 名	市町村名
千厩高等学校インターアクトクラブ	一関市
石鳥谷町連合婦人会	花巻市
紫波地区保護司会	紫波町

[個人 6人]

氏 名	所 属	市町村名
内 宮 京 子	日本ボーイスカウト岩手連盟	盛岡市
菅 原 房 子	矢巾町青少年健全育成町民会議	矢巾町
相 澤 芳 範	奥州市女子小学生球技大会実行委員会	奥州市
佐 藤 美 智 子	気仙地区草月会	大船渡市
木 谷 眞 知 子	ガールスカウト日本連盟岩手県第1団	釜石市
松 尾 東	岩手県立大学総合政策学部	八幡平市

(6) ボランティア活動促進

県民会議事業の活動のほか、ボランティア団体等と連携し、様々な分野のボランティア情報や研修の機会を提供することで青少年のボランティア活動の促進を図りました。

ボランティア登録数	79名 (2月末現在) ※今年度27名新規登録
Action 21	アイーナ内各施設や活動団体に、団体の概要や参加可能なイベント・ボランティア情報等を紹介 ① 4月24日(アイーナ)、参加者8名 ② 5月22日(アイーナ)、参加者11名 ③ 6月11日(アイーナ)、参加者17名 ④ 6月24日(アイーナ)、参加者12名 計 48名
ボランティア情報交流会	① 7月31日(アイーナ)、参加者6名 ボランティア活動の企画 ② 9月5日 観武ヶ原まつり ボランティアグループとの交流 ③ 平成23年2月13日(アイーナ)、参加者16名 講演、各ボランティア団体からの事例発表(3団体)と質疑応答グループ討議

(7) 青少年健全育成広報事業

青少年健全育成の県民運動を推進するため、機関紙「青少年いわて」を発行するほか、普及・啓発用リーフレット等の作成・配布、ホームページやメールマガジンによる情報発信等を行い、県民に対する青少年健全育成の意識啓発に努めました。

- ① 機関紙「青少年いわて Express」 6月・7月・11月:各500部
- ② 機関紙「青少年いわて」 3月発行1,200部
- ③ インターネットホームページ及びメールマガジンによる広報 * 通年

岩手県青少年育成県民会議 アドレス <http://www12.ocn.ne.jp/~ipayd/>
 青少年活動交流センター <http://www.aiina.jp/seishounen/>

○青少年活動交流センター ホームページ アクセス件数:30,532件(2月末現在)

○メールマガジン 登録数 117人 配信 10回

- | | |
|------------------------------|--------------|
| ④ いわて家庭の日啓発用リーフレット | 5,000 部 |
| 電子版「いわて家庭の日」 各市町村等 | |
| ⑤ 青少年健全育成県民会議・青少年活動交流センターうちわ | 5,000 部 |
| ⑥ 講演会、会議等での紹介 | 3 地区 1,100 部 |
| ⑦ 街頭広報啓発活動 | 5 回 部 |
| ⑧ 「わたしの主張岩手県大会」発表文集 | 1,000 部 |
| ⑨ 「いわて希望塾」事業報告書 | 320 部 |

(8) 青少年調査・研究事業

①調査・研究のねらい

不登校やひきこもりなど、学校や社会への参加に困難を抱える青少年の問題が深刻化する中で、そうした状態にならないためにも集団生活・集団活動の体験を通じて社会性を養うことが、以前にも増して重要となっている。この事業は、何らかの困難を抱えたとき、家庭・学校・職場のいずれにも属さない青少年の「居場所」が必要であるとされることから、県内各地域における居場所の運営の状況を調査し、その成果・課題を把握することにより、運営の改善や他の地域における取組みの契機とするものです。

②調査の内容

ア 市町村、NPO、民間団体等が設置・運営する青少年の居場所について調査しました。

イ 前期青年期とされる中学・高校生を主として受け入れている居場所とします。

ただし、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」による児童館及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」による放課後子ども教室に該当するものであっても、中学・高校生を主として受け入れているものは調査対象としました。

ウ 調査時期

平成 22 年度県内市町村青少年育成担当課に対する書面調査(調査要領・質問票作成、集約)

③調査結果の公表

調査結果については、インターネットホームページで公表します。

2 自立と社会参加推進事業

(1) わたしの主張岩手県大会の開催

次世代を担う中学生が、未来に向けての夢、社会に対しての意見や希望、または日常生活の中で感じたことなど、自分の気持ちを弁論を通じて表現し、地域社会とのかかわり・つながりについて考え、行動する契機とするものである。また、大人を含めた多くの人が、中学生に対する認識、理解を深めることにより、少年の健全育成の充実を期そうとするものです。

開催日:平成 22 年 9 月 24 日(金) 会場:花巻市立石鳥谷中学校 発表者: 18 名

入賞者

区分	学校・学年	氏名	発表主題
最優秀賞	盛岡市立見前中学校 3 年	因 幡 百合絵	どうせ枯れる花ならば
優秀賞	花巻市立花巻中学校 3 年	大 木 望 未	生まれてきてくれてありがとう
	久慈市立山根中学校 3 年	大 石 里 美	大切なもの
優良賞	陸前高田市立気仙中学校 3 年	熊 谷 大 稀	たった一つの命だから
	宮古市立山田中学校 3 年	福 士 泰 佳	謙虚にひたむきに己を磨く
	岩泉町立大川中学校 3 年	畠 山 広 巳	ぬぐいなあ

(2) いわて希望塾

県内各地から集まった青少年が、本県にゆかりがあり現在社会の第一線で活躍する著名人との対話や塾生同士の交流を通じ、人とかかわる力や物事に積極的に取り組む力を総合的に養うことにより、岩手県の未来を担う心豊かで意欲に満ちた青少年の育成に資することを目的として実施しました。

開催日	平成 22 年 10 月 9 日(土)～11 日(月)
会 場	国立岩手山青少年交流の家
参加者	塾生 125 名(中学生 75 名、高校生 41 名、特別支援学校 9 名) ファシリテーター15 名
内 容	○ グループワーク ○ 塾長からのメッセージ 岩手県知事 達 増 拓 也 塾長との対話 ○ 課題チャレンジ等 玉川大学学術研究所 難 波 克 己 ○ 講話 くりこま高原自然学校 佐々木 豊 志

(3) 青少年健全育成講座

近年の青少年には生活体験や自然体験が不足しているとされていることから、自立と社会性の醸成を図るため、食育(食べること)、遊ぶこと、体験することを通じて、ルール・マナー向上やコミュニケーション能力の向上を図ることをねらい、体験型の青少年健全育成講座を実施しました。

区 分	開催日、場 所	内 容	参加者数
みんなのクッキング～	平成 22 年 6 月 5 日(日) アイーナ調理実習室	調理体験(おにぎり、 焼きそば、デザート)	49 名(親子、ボラン ティア)
秋を探しに	平成 22 年 10 月 23 日(土) 盛岡市外山森林公園	散策、きのこ収穫 調理、	14 名(小学生、ボラン ティア)
科学実験教室	平成 22 年 11 月 6 日(土) アイーナ県民プラザ	液体窒素等を使用	20 名(親子)
あそびの達人	平成 23 年 1 月 8 日(土) アイーナ県民プラザ	遊び	469 名(親子、ボラン ティア)
情報メディア安心講座	平成 23 年 2 月 13 日(日) アイーナ団体活動室 1	携帯電話利用時の注 意点やマナーを学ぶ	10 名(親子、ボラン ティア)

(4) おしごと発見ツアー

様々な職場の見学を通して青少年の職業に関する理解を深め、社会性や主体性を養うとともに、将来の夢を考え、職業選びのきっかけづくりとすることを目的に実施しました。

開 催 日	場 所	内 容	参加者数
5 月 22 日(土)	タルトタタン	お菓子製造工場見 学	小学生 18 名 ボランティア 8 名
8 月 5 日(木)	テレビ岩手	テレビ局見学	小学生 22 名 ボランティア 5 名
10 月 30 日(土)	杜陵高速印刷 NEXCO 東日本	印刷工場見学 高速道路施設見学	小学生 15 名 ボランティア 9 名

(5) アイーナ博士

いわて県民情報交流センター(アイーナ)は、様々な機関、団体が入居する複合施設であり、そこで働く人、利用する人など世代、地域、職域を越えて多くの人々が交流している。参加者がアイーナを内部から観察することにより施設や運営の仕組みを理解し、社会性と職業観を養うとともに、異年齢交流を通じて子どもたちの主体性や協調性を養うものである。また、青年ボランティアが連携・協力して子どもたちの活動を支援することにより、青少年活動に対する意識の向上を図ることを目的に実施しました。

開催日	平成 22 年 8 月 21 日・22 日
会 場	いわて県民情報交流センター(アイーナ)
内 容	施設内見学、お仕事体験、夕食づくり、清掃補助等
参加者	小学 4 年生～高校生 20 名、青年ボランティア 5 名

(6) 青少年の国際理解と国際協力の推進

国際的視野と国際協調の精神を身に付けた青少年を育成するため、県内に在住する外国青年(留学生等)をスピーカーとして外国事情、生活文化の紹介や日本で暮らす印象などを語るフォーラム及び県内青少年との交流会を行うものです。

○ 国際交流シンポジウム

県内在住の外国人を発言者とし、自国の紹介、生活様式、日本で暮らす印象などを語るシンポジウムを開催予定であったが、東北地方太平洋沖地震により中止しました。

(7) メディア対応能力養成講座

近年、インターネットや携帯電話の有害サイト、ネット上の誹謗、中傷、いじめなどによって、青少年が犯罪に巻き込まれたり、被害者になるケースが増加していることから、青少年をこのような有害環境から守るため、青少年育成の指導者等を対象に、メディア対応能力の向上を図ることを目的として、県との共催により県内4地区でこの講座を開催しました。

内 容:「ネット社会に生きる子ども達」～情報モラル教育の推進について～

講師 岩手県立総合教育センター情報教育担当

開催日	場 所	参加者数
11月18日(木)	岩手県立総合教育センター(花巻市)	39名
11月19日(金)	久慈地区合同庁舎(久慈市)	10名
11月29日(月)	大船渡地区合同庁舎(大船渡市)	58名
11月30日(火)	岩手県庁(盛岡市)	49名
		計 156名

○ みんなで考えよう、ケータイ インストラクター養成講座

開催日	平成23年2月14日(月)
会 場	アイーナ 団体活動室 2・3
内 容	講義「みんなで考えよう、ケータイ～情報モラル学習プログラム～」
参加者	50名

(8) 青少年活動等相談事業

「青少年なんでも相談室」の運営 * 通年

青少年の悩みや青少年活動に関する電話相談及び面接を行いました。事例に応じて、各種関係機関と連携し、円滑な相談に努めました。

相談等件数:301件 2月末現在

(参考)

あそびの学校運営(民間団体への協力)

開催日	会 場	参加者数	備 考
平成22年4月18日	イオンモール盛岡	60名	
5月5日	〃	380名	あそびの祭典
6月6日	〃	60名	
7月11日	〃	60名	
8月8日	〃	80名	
9月5日	〃	37名	
10月31日	〃	60名	
11月14日	〃	60名	
12月5日	〃	80名	
平成23年1月15日	〃	60名	
2月6日	〃	60名	
	計	997名	

盛岡市職業体験事業者に登録され、中学生等の職業体験の場として、受け入れを行いました。

期間	受け入れ学校名	人数
・8月(5日間)	産業技術短期大学校	1名
・9月(1日)	盛岡市立城西中学校2年	3名
・11月(1日)	盛岡市立城東中学校2年	2名

3 家庭づくり・健全な環境づくり事業

(1) 「いわて家庭の日」(毎月第3日曜日)の普及啓発活動

青少年が健やかに成長する基盤である「家庭」の役割について、親等が気付くことや、親子のふれあい、家庭における基本的な生活習慣の形成に関する啓発を行いました。

- ① 事業所訪問等への奨励、広報協力要請(通年)
- ② 街頭での広報活動(通年) 5回 約4,000部
- ③ 会員団体、関係団体等の大会等でのチラシ配布、説明等(大会等に合わせて実施)
- ④ ホームページによる広報(家庭度チェック、朝ごはんレシピなど 通年)
- ⑤ 電子版「いわて家庭の日」による広報(毎月)
- ⑥ いわて家庭の日カレンダーの作成(絵画・ポスターコンクール入賞作品)

(2) 家庭の日絵画・ポスターコンクール

「いわて家庭の日」運動の普及・啓発を図ることを目的に、県内の児童・生徒を対象に、家庭への思い、家族でどのような過ごし方をしたか(わたしの思い出)等をテーマに絵画・ポスターを募集し優秀作品を表彰するとともに、優秀作品を機関紙や「いわて家庭の日」カレンダー等に活用するほか、「いわて親子・家庭フォーラム」において全応募作品を展示しました。

- 応募作品数 413 作品(小学校 345 作品、中学校 68 作品)
- 入賞作品 (10月14日選考委員会決定)

【児童の部】

区分	学校・学年	氏名	発表主題
最優秀賞	花巻市立南城小学校 5年	太田代 早紀子	家族って温かいな
優秀賞	遠野市立小友小学校 2年	小松 亜未	牛は大切な家ぞくだよ
	遠野市立小友小学校 4年	佐藤 理沙	わがやはとこやさん
優良賞	奥州市立南都田小学校 1年	千田 梨緒奈	はがきれいになってうれしいな
	遠野市立小友小学校 2年	松田 若奈	みんなで食べるとおいしいね
	奥州市立太田代小学校 3年	伊藤 茉凜	家ぞくでいちごつみ
	盛岡市立城北小学校 4年	泉田 陽菜	みんな幸せ 米寿のお祝い
	住田町立世田米小学校 6年	松田 ほのか	みんな元気な家族

【生徒の部】

最優秀賞	大船渡市立綾里中学校 3年	黒沢 葵	夏休み
優秀賞	一関市立山目中学校 3年	千葉 菜々美	母と子
優良賞	矢巾町立矢巾北中学校 1年	宍戸 恵	思い出の家族写真
	矢巾町立矢巾北中学校 2年	佐藤 悠	待ちに待った妹の誕生

(3) いわて親子・家庭フォーラムの開催

家庭教育、地域教育の現状やあり方を紹介する講演や「家庭の日」に因むポスターの展示などのフォーラムを実施し、日常の取組みを支援する契機とするものである。併せて、県、関係団体の青少年対策、いわて家庭の日運動などを広くアピールするため、県、花巻市青少年育成市民会議及び本県民会議の共催により実施しました。

	盛岡会場	花巻会場
開催日	平成22年11月6日(土)	平成22年11月27日(土)
会場	アイーナ	花巻市石鳥谷生涯学習会館
参加者	353人	275人
内容	講演(親子講座)、展示等	講演、表彰

(4) いわて家庭充実プロジェクト「親学事業」子どもと向き合う親の講座

家庭は子どもたちの資質や能力が養われる場であり、すべての教育の出発点であることから、地域社会全体で家庭の役割を再認識しながら、家庭の教育力の向上を目指す必要がある。

このため、この事業は、親の子どもに対する接し方、対話の仕方等について理解を深めること等を目的に各地域の団体が企画する研修等の開催の活発化を図るため、その開催経費の一部を本県民会議が負担し、共催により実施しました。

	実施団体	内容
1	花巻市地域婦人団体協議会	<p>名称:食育と健康講座 期日:平成22年7月14日(水) 場所:花巻市湯本振興センター(花巻市) 参加人数:50名 内容:実習と講話 地元でとれる雑穀と新鮮な野菜を使って食育の大切さを学び、実際に調理し健康で楽しい食事づくりを実践 講師:下田田美子(管理栄養士、食育コンサルタント)</p>
2	陸前高田市地域女性団体協議会	<p>名称:青少年健全育成事業(母子像建立記念研修会) 期日:平成22年10月3日(日) 場所:陸前高田市ふれあいセンター(陸前高田市) 参加人数:337名 内容: ○作文入賞者表彰と入賞作文朗読 ○講演会 すこやかに ゆるやかに ぼちぼちと「まきばフリースクールの活動から学ぶもの」 講師:武田和浩(特定非営利活動法人まきばフリースクール代表)</p>
3	何でもやろう会	<p>名称:家庭教育講演会 期日:平成22年11月6日(土) 場所:盛岡市立見前南小学校(盛岡市) 参加人数:250名 内容:子どもの生活実態や現代の社会構造の変化等を踏まえた上で、子どもの健全育成にむけ、子どもの望ましい生活リズムのあり方を探る機会 講師:武田京子(岩手大学教育学部教授)</p>
4	葛巻町婦人連絡協議会	<p>名称:親のしゃべり場教室 期日:平成22年11月13日(土) 場所:森と風のがっこうと地区センター(葛巻町) 参加人数:48名 内容:森と風のがっこうのオープンデーに参加している子どもたちの保護者と婦人会のボランティアと一緒に語りあうワーキング講座 午前:遊び 午後:しゃべり場教室 講師:吉成信夫(森と風のがっこう校長)</p>
計	4団体	

(5) 親子ふれあい広場「観武ヶ原まつり」

「いわて家庭の日」運動の普及・啓発の一環として、財団法人岩手県青少年会館との共催により実施するもので、親子や地域の大人と子どもたちが多数参加し、音楽演奏、踊りの披露やゲーム等を通じ、参加者相互の交流・親睦を図りました。(財)岩手県青少年会館と共催で実施)

開催日:平成22年9月5日(土)

会場:岩手県青少年会館隣接駐車場

参加者:地域の大人、子ども、ボランティア等 約 1,500人

内容:城北小学校吹奏楽団、町内会有志の踊り、青少年団体等によるアトラクション、ゲーム、屋台、バザー等

(6) 青少年を非行から守る県民大会

「青少年の非行・被害防止県民運動」(期間平成 22 年 7 月 1 日～8 月 31 日)の一環として県及び本県民会議の主催により実施したもので、国が提唱・実施する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に呼応し実施したものです。この県民運動は、岩手県における関係機関、団体、地域住民等が、青少年の非行・被害防止のための諸施策及び活動を有機的に連携づけ、「青少年は、地域社会からはぐくむ」という観点に立ち、諸事業を集中的に実施して、青少年の非行・被害防止と健全育成の活性を図ったものです。

開催日	平成 22 年 7 月 21 日(県、「社会を明るくする運動岩手県推進委員会」と共催)
会場	アイーナ 7 階 アイーナホール
参加者	青少年育成関係者(社会を明るくする運動関係者を含む) 約 480 人
内容	① 県民会議本年度の活動方針(「いわて家庭の日」の取組みなど) ② アトラクション(警察音楽隊) ③ 意見発表 平成 21 年度「私の主張」県大会最優秀賞者 ④ 作文発表 第 59 回「社会を 明るくする運動」作文コンテスト委員長賞者 ⑤ 講演 「青少年の誇りと夢を育むために」 日本ガーディアンエンジェルス 理事長 小田啓二 氏 ⑥ 非行防止大会決議表明

※ 1～4の事業のうち、下記のものは、青少年活動交流センターの運営受託事業として実施。

- (1) 「いわて親子・家庭フォーラム」の開催 (再掲)
- (2) 「親学」事業 子どもと向きあう親の講座 (再掲)
- (3) 青少年健全育成講座 (再掲)
- (4) 「いわて希望塾」事業 (再掲)
- (5) ボランティア活動促進 (再掲)
- (6) 青少年活動情報発信事業
青少年健全育成に関する先進的事例及び各青少年団体の活動情報等、青少年健全育成に係る各種情報をホームページやメールマガジンを通じて広く県民に提供しました。(通年)
- (7) 青少年活動等相談事業「青少年なんでも相談室」の運営 (再掲)
青少年の悩みや青少年活動に関する電話相談及び面接を行いました。事例に応じて、各種関係機関と提携し、円滑な相談に努めました。

4 青少年育成器材の貸出し

青少年活動や青少年育成事業に必要な機材を整備し、関係団体等の利用に供しました。

- ① 視聴覚器材等(ビデオ、16 ミリ映写機及び映画フィルム、紙芝居等)
- ② 野外活動・スポーツ用品(キャンプテント、寝袋、飯盒、軟式野球用具等)
- ③ 楽器・その他(アコーディオン、ギター、トランシーバー等)

〔青少年育成活動器材提供活動 実績〕

・アンプー式 2 団体 ・キャンプテント・飯ごう 1 団体

5 県民会議機関の運営

(1) 通常総会の開催(=会議)

開催日	平成 22 年 5 月 17 日(月)
会 場	アイーナ 会議室 804A
議 事	①平成 21 年度事業報告について ②平成 21 年度収支決算の承認について ③平成 22 年度事業計画(案)について ④平成 22 年度収支予算(案)について ⑤役員の選任について ⑥公益法人改革に関する対応について

(2) 理事会の開催(=会議)

区 分	第 1 回理事会	第 2 回理事会	第 3 回理事会
開催日	平成 22 年 5 月 17 日(月)	平成 22 年 11 月 11 日(木)	平成 23 年 3 月 24 日(木)
会 場	アイーナ 6 階 団体活動室 2	アイーナ 6 階 団体活動室 2・3	マリオス 18 階 183 会議室
協議 事項	①正会員の加入 ②平成 21 年度決算 ③公益法人改革の対応	①正会員の加入 ②公益社団法人認定申請 ③平成 22 年度上半期事業 の実施状況	①平成 22 年度事業実施状況 ②平成 22 年度予算の補正及 び決算(見込み) ③平成 23 年度事業計画(案) 及び収支予算(案) ④公益法人移行

(3) 副会長会議の開催

区 分	第 1 回	第 2 回
開催日	平成 22 年 10 月 19 日(火)	平成 22 年 11 月 11 日(木)
会 場	アイーナ 6 階 講師控室 1・2	アイーナ 6 階 団体活動室 2・3
協議 事項	①事務局体制等について	①事務局体制等について

(4) 新規会員加入促進

組織の充実と自主財源の拡充強化のため、新規会員の獲得について広報活動しました。